

經濟水道委員会

説明資料

令和3年3月12日
観光文化交流局

目 次

	頁
1 観光客誘致促進事業	1
2 インバウンド誘致の強化	2
3 尾張藩連携事業の推進	2
4 観光客の誘致宣伝活動	3
5 なごや観光ルートバス「メーグル」の利用者数の推移	4
6 バスを利用した観光客の周遊性向上策検討調査	4
7 観光案内所基本構想の策定	5
8 パートナー都市連携の促進	6
9 国際展示場第1展示館の移転改築等に係る財源内訳	7
10 歴史文化普及啓発事業	8
11 音楽あふれるまちづくりプロジェクト	8
12 公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団による地域貢献の取り組み	9
13 金山南ビル美術館棟の運営	9
14 実施設計	10
15 木材の製材	11
16 石垣調査等	12
17 文化庁指摘事項に対応する発掘調査の成果	13
18 名古屋城天守閣整備事業に関する基本協定に基づく契約の状況	14
19 特別史跡名古屋城跡本丸整備基本構想及び天守整備基本構想の概要	15

(添付資料)

特別史跡名古屋城跡本丸整備基本構想及び天守整備基本構想

1 観光客誘致促進事業

(単位：千円)

区 分	金 額
市内宿泊施設への宿泊に対する割引	1,600,000
観光誘客プロモーションの実施	30,000
事務費	20,000
計	1,650,000

2 インバウンド誘致の強化

(1) 趣旨

本市を訪問する外国人観光客数の早期回復を図るため、アジア地域（台湾、韓国、ベトナム等）を対象とした観光客誘致や本市の知名度向上等に係る事業を広く展開する

(2) 内容

- ・旅行博への出展
- ・イベント、セミナーの実施
- ・旅行会社等へのセールス
- ・動画の制作及び配信 等

3 尾張藩連携事業の推進

(1) 趣旨

旧尾張藩のつながりを軸に、木曾地域を中心とした周辺自治体や交通事業者等から構成された協議会を通じて海外プロモーションを実施するほか、当地域の認知度向上を図るため国内プロモーションを実施する

(2) 内容

区 分	内 容
海 外	<ul style="list-style-type: none">・メディアの招請・オンライン旅行サイトでの共同広告・旅行博への出展 等
国 内	<ul style="list-style-type: none">・イベントへの出展・パンフレットの制作 等

4 観光客の誘致宣伝活動

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
人 件 費	観光客の誘致にかかる(公財)名古屋観光 コンベンションビューローの固有職員等 31人の人件費	188,333
事 務 費	事務所経費、通信料等	19,637
事 業 費		17,966
ウェブサイトの 維持管理	・ウェブサイトのコンテンツ作成 等	5,500
国内観光客 誘致事業	・旅行商品造成セールス ・観光展への参加 等	2,263
外国人観光客 誘致事業	・エアラインと連携した情報発信 等	1,623
そ の 他	・ボランティアの運営 ・観光に係る企画検討調査 ・ロゲイニング大会の開催 ・観光客誘致PR印刷物等作成 等	8,580
	計	225,936

5 なごや観光ルートバス「メーグル」の利用者数の推移

(単位：人)

区 分	利用者数
平成20年度	229,449
平成25年度	312,624
平成30年度	392,416

注 平成19年7月から運行開始

6 バスを利用した観光客の周遊性向上策検討調査

(1) 趣旨

市内の魅力的な観光スポットへの更なる誘客を図るため、周遊型のバスについて、新たなルートや民間事業者による運行への協力・支援等の実現の方策を検討する

(2) 検討内容

- ・ 魅力的な周遊ルート
- ・ 既存の交通機関との連携・すみ分け
- ・ 運行主体
- ・ 民間事業者への協力・支援

7 観光案内所基本構想の策定

(1) 趣旨

リニア中央新幹線開業により形成される新たな交流圏の拠点に相応しい名古屋市観光案内所の案内機能強化に向け、基本構想の策定を進める

(2) 内容

- ・リニア中央新幹線の開業に伴う名古屋駅周辺のまちづくりを踏まえた名古屋駅観光案内所における案内機能、施設規模等の検討
- ・金山観光案内所及びオアシス21 iセンターにおいて必要となる案内機能、施設規模等の検討

(3) 方向性

- ・観光客にとって分かりやすく、利用しやすい場所への設置
- ・利用者ニーズを捉えた案内サービスの多様化による利便性の向上
- ・十分な案内サービスの提供に必要な施設規模の確保
- ・民間事業者との連携による案内サービスレベルの向上

8 パートナー都市連携の促進

(1) 趣旨

アジアをはじめとする外国諸都市と分野を特定した都市間の連携を行うことにより、本市組織や民間団体等との交流・協力をより一層促進する

(2) 内容

- ・「パートナー都市連携指針」（平成31年1月策定）の推進
- ・各局における連携意向の把握
- ・候補都市との締結に向けた調査及び各局への支援
- ・外務省や大使館などを通じた情報収集

(3) 実績

区分	締結時期	分野
台中市	令和元年10月	観光
タシケント市	令和元年12月	観光・文化交流

(4) 今後の方針

2026年のアジア競技大会の開催を見据え、各局の所管事業をもとに新たなパートナー都市となりうる都市及び分野について調査・検討し、候補都市との合意形成を図り、拡大を目指す

9 国際展示場第1展示館の移転改築等に係る財源内訳

(1) 第1展示館

(単位：千円)

区 分	金 額
地方債	8,477,000
一般財源	2,826,252
その他	8,701
計	11,311,953

(2) コンベンション施設

(単位：千円)

区 分	金 額
地方債	1,492,000
一般財源	503,600
計	1,995,600

10 歴史文化普及啓発事業

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
伝統芸能の公演	・能・狂言など名古屋ゆかりの伝統芸能の公演	7,800
まちなか展開	・まちなかで狂言・歌舞伎等の伝統芸能の公演 ・歴史伝統文化にちなんだ講座の開催 ・地域の魅力を再発見するまち歩きの開催	22,700
運営・広報	・印刷物等の制作 ・各種広報、企画運営	19,500
計		50,000

注 やっとかめ文化祭実行委員会の市負担金に係る事業費の内訳

11 音楽あふれるまちづくりプロジェクト

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
アッセンブリッジ・ナゴヤ	名古屋港の周辺エリアにおいて音楽とアートの国内外芸術家が一定期間滞在し、展覧会やコンサートなど、地域との様々な交流事業を実施することで文化を活かしたまちづくりや地域活性化、都市の魅力の向上を図る	6,000
ナゴヤ・ポップアップ・アーティスト	様々なジャンルのアーティストに市民の目に触れやすい場所での発表機会を設け、市民が気軽に文化芸術に触れる機会を創出することで、まちの賑わいづくりや本市の文化芸術の振興を図る	900
計		6,900

1 2 公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団による地域貢献の取り組み

- ・未就学児・小学生・中学生・高校生を対象にした移動音楽鑑賞教室
- ・子どものための巡回劇場における演奏会
- ・障害のある方などを対象にした特別演奏会
- ・音楽プラザを利用したサロンコンサート
- ・市民が集まる場所で開催するまちかどコンサート
- ・吹奏楽に取り組む中学生・高校生への演奏指導
- ・歴史的建造物を活用したアンサンブルコンサート

1 3 金山南ビル美術館棟の運営

(単位：千円)

区 分	金 額
共益費・光熱水費・共用部修繕費負担金	51,345
維持管理業務・機械警備業務委託料	44,408
専有部経常営繕費	13,431
損害保険料	600
計	109,784

14 実施設計

(単位：千円)

区分	当初予算		繰越明許費	
	事項	金額	事項	金額
設計業務	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図作成 ・現状変更許可書類作成 	89,000	—	—
調査業務	<ul style="list-style-type: none"> ・史実調査 ・地盤調査 	32,000	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤調査 	61,000

15 木材の製材

(1) 内訳

(単位：千円)

区 分		金 額
木材の手配・製材	保管費	90,000
	運搬費	34,000
計		124,000

(2) 調達状況

(単位：本)

区分	調達実績		調達予定	計
	平成30年度	令和元年度		
桧	562	805	—	1,367
松	156	536	—	692
檜	7	5	—	12
米ヒバ	—	—	252	252
計	725	1,346	252	2,323

注 米ヒバの調達は、基礎構造が確定していないため見合わせている状況

16 石垣調査等

(単位：千円)

区 分	金 額
内堀御深井丸側等の石垣及び地盤の安定性調査	60,000
石垣モニタリング	5,500
穴蔵石垣の試掘	15,574
計	81,074

1.7 文化庁指摘事項に対応する発掘調査の成果

(1) 本丸内堀発掘調査

区 分	内 容	
概 要	調査地点	本丸内堀4箇所
	面 積	約90m ²
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・大天守台西側で、内堀を横断する2条の石列を検出 ・石垣を伴う構築物の基礎部分の可能性はある 	

(2) 御深井丸発掘調査

区 分	内 容	
概 要	調査地点	御深井丸25箇所
	面 積	約98m ²
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・間知石からなる石列を検出 ・金城温古録に「水道」と記された水路の一部の可能性はある 	

18 名古屋城天守閣整備事業に関する基本協定に基づく契約の状況

(単位：千円)

区 分	契約期間	契約金額
基本設計その他業務委託	平成29年 5月 9日 ～平成30年 3月30日	846,936
天守台石垣調査業務委託	平成30年 1月31日 ～令和 2年 3月23日	334,374
実施設計業務委託	平成30年 4月 9日 ～令和 3年 3月26日	1,151,592
史跡内仮設工事	平成30年 5月 8日 ～平成30年 8月31日	86,952
先行工事（木材の製材）	平成30年 7月 4日 ～令和 4年12月16日	9,451,893
先行工事（木材の製材）監 理委託	平成30年12月28日 ～令和 4年12月16日	67,008
木造天守閣実物大階段模型 及び展示施設棟建設工事	令和 元年 5月15日 ～令和 元年 9月25日	90,452
天守台石垣モニタリング調 査業務委託	令和 2年 4月22日 ～令和 3年 3月22日	5,415
本丸内堀発掘調査に伴う測 量等業務委託	令和 2年11月 2日 ～令和 3年 3月22日	9,712
御深井丸及び小天守西側発 掘調査に伴う測量等業務委 託	令和 2年12月 2日 ～令和 3年 3月22日	12,084
計		12,056,418

注 令和3年2月末現在

1 9 特別史跡名古屋城跡本丸整備基本構想及び天守整備基本構想の概要

(1) 本丸整備基本構想

ア 基本理念

- ・近世期最高水準の技術により築城された名古屋城の象徴である本丸の姿を現代に再現する
- ・明治初期に姫路城とともに日本城郭の見本として永久保存されることとなった江戸期の名古屋城本丸の姿を再現する
- ・本丸を構成する現存する石垣、建造物等の適切な保存管理と現存しないものの段階的な復元等により、本丸全体を往時の姿が実体験できる場とする

イ 基本方針

- ・現存する遺構及び建造物等の適切な保存
- ・改変された遺構や焼失建造物等の復元
- ・近世城郭の中核部を体感
- ・復元建造物を中心とした活用の展開

(2) 天守整備基本構想

ア 現天守閣の果たしてきた役割

- ・戦後復興の象徴
- ・博物館としての機能と活動
- ・豊富な史資料に基づく「外観復元」
- ・SRC造建造物としての価値

イ 現天守閣の課題

- ・特別史跡名古屋城跡の本質的価値の理解促進にかかる課題
- ・建物の課題（機能・耐震性能・経年劣化等）
- ・天守台及び天守台周辺石垣の課題

ウ 復元の意義

(ア) 本質的価値の向上と理解促進

- ・天守の建築的特徴の理解
- ・天守に関する調査研究の推進
- ・名古屋城が築かれた時代的背景の把握
- ・近世期の名古屋城本丸の空間体験
- ・都市形成の起点となった名古屋城の再認識と歴史まちづくり

(イ) 世界的視座からみた復元の意義

- ・ 真実性への配慮
- ・ 人々の記憶の再構築
- ・ 調査研究と解釈の実践

(ウ) 復元の利点と波及効果

- ・ 伝統技術の継承、職人の育成
- ・ 適切な修理・修繕による長期間の維持存続
- ・ 新技術の導入と伝統工法の融合
- ・ 歴史的建造物の復元のモデルケース
- ・ 森林資源（国産材）の利用促進
- ・ 地域のシンボル再建による文化的観光面での波及効果

エ 整備方針

天守の整備方針は、史跡の本質的価値の向上と理解促進にとってより大きな効果がある木造復元とし、以下のとおり実施する

- ・ 調査研究に基づく史実に忠実な復元
- ・ 遺構の保存に十分配慮した整備
- ・ 防災上の安全確保
- ・ 史実に忠実な復元とバリアフリー化の両立
- ・ 現天守閣の記録・記憶の継承

オ 復元時代の設定

- ・ 復元時代は宝暦の大修理後の姿とする

カ 木造天守の活用

- ・ 創建時から残る建造物、石垣等の遺構及び復元した本丸御殿等とともに、本丸全体の空間構成を実感することで本丸の役割や機能変遷をはじめとする名古屋城跡の歴史・価値・魅力をわかりやすく正確に伝える